

今後の取組み ～地域活動の輪を拡げていく～

STEP-1：自治会等との意識共有の場のイメージづくり

①地域活動団体等と校区交流会議の連携

寺池公園活動としての校区交流会議への参画(寺小、伏小)

②寺池公園での実践による課題等の抽出

○校区交流会議においての取組み提案

○3/16寺池クリーンDayの企画・運営

○3/30桜フェスタの企画・運営

(寺池台1丁会、五丁目、金剛団地自治会)

これに先立ち、市に寺池テラスの美化を行っていただく

③金剛地区再生フォーラムの開催(市・きんきうえぶ)

○自治会代表へのフォーラム出席依頼

○取組み報告；寺池公園での活動状況、今後の方針等

STEP-2：段階的活動の輪の拡大

防災グリーンフェスタ(金剛中央公園)の開催

・各々のルート・活動(清掃、花いっぱい活動等)で参集

・防災：金剛地区避難所マップ配布、消防団デモ等

・グリーン：なんでもOK、普段の活動をゴチャゴチャに

(プレーパーク、健康、音楽、カフェ、キッチンカー等)

寺池公園への指定管理者制度の導入 地区内の身近な居場所を増やしていく

○取組みテーマの設定：金剛中央公園活用

金剛公民館・図書館活用

金剛駅前周辺エリア活性化等

○校区交流会議を通じた取組みの企画・提案

STEP-3：公民学連携プロジェクトの推進(大学, UR, 南海等)

3/16寺池クリーンDay

- ・水利組合との共同伐木・除草活動
- ・公園事業者協力によるテラス清掃
- ・自治会参画による美化・清掃活動
- ・寺池テラスにおける交流会



寺池公園で
持続的な維持・改善とソフトを実践し、
誰もの居場所へと再生していく

公園管理事業者

+

寺池公園等を活かしたまちづくりの会
寺池公園愛護会、寺池台一丁目、
寺池台五丁目自治会、金剛団地自治会、
ボランティアクラブ等

金剛地区まちづくり会議の課題

課題認識

金剛地区まちづくり会議と
自治会との関係が希薄で、
情報の共有が図られていない。

各取組み(プロジェクト)が進むにつれ、
広域的な意識共有が必要となるが、
その場が整っていない。

参加メンバーが固定化し、
関係人口増につながっていない。

金剛地区再生に向けた
包括的な議論ができていない。

対応(案)

- 地区全体の質を高めるプロジェクトを起こし、各自治会との関係性を高める。
- 自治会との連携を要するプロジェクトは、校区交流会議で提案・共有していく。
- 自治会との関係性は、プロジェクトの規模・熟度に応じて段階的に構築する。

参加の目的を明確にして、
会議体としての意義を高める。
ex. 4月会議(成果報告・年次計画)
9月会議(次年度計画・予算等)

金剛地区再生に関わる
年次計画を共有の上、
市と対話し、必要に応じて
事業・予算等を提案できる枠組みとする。

拡充のねらい

- ①金剛地区再生指針に基づき、市と共に創り上げてきた会議体としての位置づけを継承する。
- ②自治会等が“自分ごと”として、担い手と共に取組むことで、活動の裾野を拡げていく。
- ③会議体としての機能を整えることで、公民学連携の地域側の受け皿としての役割を担う。
- ④行政とともに、担い手・自治会等の参加を促すとともに、公民学との良好な関係を築き、金剛地区再生に向けた公民学連携プロジェクトの立上げ・推進の促進を図る。

金剛地区まちづくり会議の充実(案)

金剛地区まちづくり会議の充実

活動内容：年次事業計画の策定、市への事業・予算等の提案、事業推進等
4月総会（成果報告・年次計画）、9月総会（次年度計画・予算等）

まちなか
ウォーカブル

ピュア金剛跡地活用

駅前周辺エリア
再生の検討

空き家活用

スマートモビリティ

駅前再生

健康
ウォーキング

寺池公園活用
水辺が眺められる空間づくり
プレーパーク

わっくカフェ
虹いろサロン
KON ROOM

防災

金剛バル
金剛マルシェ
盆踊り

金剛中央公園活用
公園のリニューアル
スポーツホールの建替え

※各プロジェクトは各活動団体等で推進

参加することにより連携関係を築く

校区交流会議

地域としての意識共有、自治会連携

寺池台小学校校区
校区交流会議

伏山台小学校校区
校区交流会議

久野喜台小学校校区
校区交流会議

高辺台小学校校区
校区交流会議

行政支援・連携

金剛地区再生指針推進協議会
学識経験者、地域住民、地域活動団体
南海電鉄、UR都市機構
大阪府、富田林市

地域活動の支援 (H6きんきうえぶ)
専門家の派遣、モニター制度
多様な連携の促進、発信・広報
運営支援

KLLP等 連絡調整会議
大阪大谷大学、阪南大学
UR都市機構、南海電鉄
富田林市

校区交流会議

増進型地域福祉を実現するために、
 市内16小学校区ごとの地域が主体となった「**校区交流会議**」を開催。
 地域住民や福祉活動団体、福祉専門職等が参加し、
 地域の課題を共有するとともに「**地域の理想**」を描き出し、
 その理想の実現や地域の将来像について話し合う。
 小学校区ごとに「**校区プログラム**」を企画し、実践する。

